

(令和2年3月2日招集)

本日、ここに令和2年第1回山形村議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆さまにはご多用の中全員のご出席を賜り、厚くお礼申し上げます。

記録的な暖冬から、春の日差しが眩しい季節を迎えました。長いもの圃場では春掘りの作業も進んでおりますが、例年より早い春の訪れに、今後の水不足の影響や台風などの自然災害の発生も心配になるところであります。

今年は、十二支の始まりの子年で、7月には東京でオリンピック・パラリンピックが開催される希望に満ちた年ではありますが、昨年12月以降、中国を中心に感染が広がっている新型コロナウイルス感染症は、国内での感染者の増加と共に世界経済にも大きな影響を及ぼし始めております。村としても予防対策など、最善を尽くして参りますが、一日も早い終息を願うところであります。

続いて、12月の議会定例会以降の主な行政動向について報告を申し上げます。始めに「工事の発注状況について」は、お手元に配布されております資料の“工事の発注状況”をご覧くださいと思います。

次に、昨年12月に閣議決定された「安心と成長の未来を拓く総合経済対策」の中で示されましたギガスクール構想についてであります。これは児童生徒が1人1台の端末を利用する環境整備と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、主体的・対話的で深い学びを進め、児童生徒の資質・能力を確実に育成していくことを目指しています。

令和2年1月30日に、国の令和元年度補正予算が成立し、このギガスクール構想関連事業が示されました。文部科学省では、児童生徒1人1台の端末利用を、令和5年度までに全国の義務教育諸学校で実現する考えであり、ICT環境の整備を積極的に進めることとしています。こうした状況を考慮し、山形小学校におきましては、1人1台の端末利用の基盤となる高速情報通信ネットワーク環境の整備が必要であることから、財政面で有利である今回の国の補正予算を活用し、高速情報ネットワーク整備を進めることといたしました。

次に、新型コロナウイルス感染症の国・県の状況につきましては、連日テレビや新聞で報道されております。過日2月25日に長野県で初めて感染者が確認されたことから、山形村では翌26日に山形村新型コロナウイルス感染症対策本部を役場に設置いたしました。

感染症への対策としましては、村民の皆さんへの情報提供・感染症の予防対策に

ついでに文書の全戸配布を行い、各種行事の中止・延期の検討のお願いなどについて調整し、それぞれ実施しております。

国では、3月中旬までが山場と捉え、予防対策を強化しておりますので、当村でも国・県の指針に沿って村民の皆さまのご理解とご協力の元、最優先の課題として対応しております。

さて本日ご提案いたします案件は、負担付寄附の受入1件、長野県町村公平委員会規約の変更1件、条例の一部改正9件、新年度予算7件、補正予算5件の計23件でございます。ご審議を賜ります様、お願い申し上げます。

以上、開会に当たりましての挨拶と行政報告とさせていただきます。